

当帰四逆湯は、「傷寒論」に収録されている、しもやけ、下腹部痛、腰痛、下痢、月経痛、冷え症に用いられる漢方薬です。

相談すること

1. 次の人は服用前に医師又は薬剤師に相談してください

- (1) 医師の治療を受けている人。
- (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
- (3) 胃腸の弱い人。
- (4) 高齢者。
- (5) 今までに薬により発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人。
- (6) 次の症状のある人。
むくみ
- (7) 次の診断を受けた人。
高血圧、心臓病、腎臓病

2. 次の場合は、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師又は薬剤師に相談してください

(1) 服用後、次の症状があらわれた場合

関係部位	症 状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症 状
偽アルドステロン症	尿量が減少する、顔や手足がむくむ、まぶたが重くなる、手がこわばる、血圧が高くなる、頭痛等があらわれる。

(2) 1カ月位（下腹部痛、下痢に服用する場合には5～6回）服用しても症状がよくならない場合

3. 長期連用する場合には、医師又は薬剤師に相談してください

効能・効果

手足が冷えるものの次の諸症：しもやけ、下腹部痛、腰痛、下痢、月経痛、冷え症

成分と分量

1包（大人1日量）中に次の成分を含んでいます。

成 分	トウキ	ケイヒ	シヤクヤク	モクツウ	サイシン	カンゾウ	タイソウ
分 量	3.0g	3.0g	3.0g	3.0g	2.0g	2.0g	5.0g

用法・用量

本品1包を和紙袋入りのまま、水約500mLを加えて、半量くらいまで煎じつめ、和紙袋とともに煎じかすを除き、煎液を3回に分けて食間に服用してください。

上記は大人の1日量です。

年 齢	大人(15才以上)	14才～7才	6才～4才	4才未満
服用量	上記の通り	大人の2/3	大人の1/2	服用しないこと
1日服用回数	3回			

<用法・用量に関連する注意>

- (1) 用法・用量を厳守してください。
- (2) 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。
- (3) 煎じ液は、必ず熱いうちにかすをこしてください。
- (4) 本剤は必ず1日ずつ煎じ、数日分をまとめて煎じないでください。

保管及び取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない、湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- (2) 小児の手の届かない所に保管してください。
- (3) 他の容器に入れ替えないでください。（誤用の原因になったり品質が変わります。）
- (4) 煎じ液は腐敗しやすいので、冷暗所又は冷蔵庫等に保管し、服用時に再加熱して服用してください。
- (5) 生薬を原料として製造しているので、製品の色や味等に多少の差異を生じることがあります。